

# にこる通信

平成30年10月10日発行



清秋の候、皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。日頃より「よつば・にこる」をご利用下さり、まことにありがとうございます。

前期が終わり、いよいよ後期に突入といった学校が多くあります。前期の終わりということで、面談等がありましたね。お子様の、前期の様子や今後の方針についてのお話があったと思いますので、また、よつば・にこるまでお知らせ頂けたら幸いです。

秋らしい空気にはなってきましたが、まだまだ日中は暑い日もあります。気温や気圧の変化が大きく、体調を崩しやすくなっており、風邪も流行する季節となってきました。咳が出る時にはマスクを着用するなど、感染拡大を防ぐためにご協力をお願いいたします。

にこるに着替えを置かれている方で、まだ衣がえのお済みでない場合には、お預かりしている着替えを一旦返却いたしますので、中身の入れ替えをお願い致します。



## にこるの10月の壁面装飾です

9月28日(金)の活動プログラム「にこにこるんるん  
◎壁飾り!!」で制作しました。

今回は、「かぼちゃ」「きのこ」「どんぐり」を、お子様たちに折り紙でつくってもらいました。

折り紙は「手先の器用さ」のみが注目されがちですが、「注視や追視などの眼球運動」「手と目の協応」「理解などの認知機能」など、お子様の様子に着目してプログラムを行うことで、思わぬ「つまずき」や今後の支援の糸口を発見することができます。

# 9月の活動プログラム フレイバック

## 9/1(土)「芸術の秋をサキドリ！静岡県立美術館に行こう♪」

7,8月と、さまざまな外出プログラムをおこなってきました。にこるの外出プログラムは、場所によって変わることもありますが、基本的には「走らない」「声の大きさは0,1(,2)」「おとなが見える位置にいる」という約束があります。美術館は、そういった約束をしっかり守れることが問われる最難関の外出先の1つであると考えております。そして当日、とても上手に鑑賞することができました。体を動かすプログラムの時には思いっきり楽しむことができ、静かに過ごすときには穏やかに過ごせる「にこる」のお子様たちは本当に最高です！

## 9/8(土)「フラワーアレンジメントを体験しよう！」

「にこる」としては初めて、講師の先生をお招きしてのプログラムとなりました。「にこる」のお子様たちはお客さんが大好きです。プログラムとなると、いつもはりきって参加してくれますが、この日はいつも以上に頑張ってくれました。カゴにアーティフィシャルフラワーをつけていくのですが、個々にテーマを考えながらの制作となりました。制作の後にはつくったものの発表をしました。発表ではみんなの前で上手にお話ができまし、  
「高速道路」「潜水艦」など、個性的なテーマもありつつ、楽しいプログラムでした。講師の先生のご厚意があったからこそ実現したプログラムであるうえに、「にこる」のお子様たちのプログラムへの姿勢を褒めていただいたりと、感謝してもしきれないほどにいろいろと与えて頂きました。

## 9/10(月)「あっちからこっち！あずき大移動！」

「にこる」の定番プログラムですが、なかなか日の目を見ないプログラムでもあります。前述の「折り紙」同様、「手先の器用さ」にのみ着目しがちです。「にこる」では職員は、単純な内容の活動でも「何を見るか」「見たものをどうキャッチするか」という視点でプログラムを日々行っております。ここ最近の「あずき大移動」では「握り方の発達」についてお子様1人ひとりを見ることにしております。お箸の握り方はもちろんですが、同じ「スプーンを握る」にしても大きく分けて3段階あります。「にこる」では、スプーン1段階目のお子様いきなりお箸ではなく、段階を経ることでお箸にたどりつけるように支援していこうと思います。

## 9/29(土)「体のバランスを感じてみよう！」

「にこる」の定番プログラムですが、こちらもなかなか日の目を見ないプログラムです。「バランス」を「平衡感覚」という枠組みで考えてのプログラムへと移行しました。①軸を作ること ②重力を感じることを中心に、感覚統合理論に基づく「平衡感覚」へのアプローチをしています。「平衡感覚」へのアプローチにより「姿勢が良くなった」「目が合うようになった」「学習障害が改善された」「情緒が安定した」などの事例もあるようです。全部が全部ではないでしょうが、「にこる」でも少しずつ手ごたえを感じ始めております。お子様の可能性を信じ、できる限りの支援をし、お子様の本来の力が発揮できるようお手伝いをしたいです。



# 11月の活動プログラム ピックアップ

11/5～11/10は、11/3の「文化の日」にちなんで「にこる 文化ウィーク」とし、11/19～11/24は、11/23の「勤労感謝の日」にちなんで「にこる 勤労感謝ウィーク」としました。

文化とは、「風土・風習・伝統・価値観・知識・芸術・道徳」など、個人や所属するグループと、他を区別するものだと言われています。

「にこる 文化ウィーク」は、「芸術・風土・価値観」に重点を置き、「絵本読み聞かせ」「ぬりえ選手権」「ラジオ体操とダンス」などの定番プログラムをアレンジし、また「4コマ目は何だろう?」「ミステリーツアー」といった新しいプログラムを追加しました。

「勤労感謝の日」の起源は、収穫祭だったようですが、にこるではそのまま「勤労」にスポットを当てました。「オフィスアシスタント(勤労感謝 ver.)」「～にこる～開店」などの定番プログラムや「名刺をつくろう!」「『手続き』をしてみよう!!」といった特別プログラム、「つめつめるんるん<sup>©</sup>にこる運送」の派生プログラム～Nicozon.co.jp～といった活動を通して「働くことの喜び」や、日頃、自分たちのためにお仕事に行ったり、お家のことをしてくれている人への感謝を自然と感じられることを目的としています。

## にこるのコラム — にこらむ — ①

「にこる」では今まで、声かけ等はABA(応用行動分析学)、プログラム等はSST(ソーシャルスキルトレーニング)をベースに「療育」を行ってきました。正直申しますと、そのような中で、職員自体が悩み不安に思うことが多々ありました。「なんでできないんだろう」「なんでやめてくれないんだろう」そんなことの繰り返しでした。そこで初心に立ち返り、「子どもはそもそも成長途上であり、未発達である」「子どもは大人のミニチュアではない」という基本から「にこる」の「療育」を見直しました。そして「感覚統合」の考え方に出会い、学んでいく中で、「根本のつまずき」にアプローチしていくという方法を取り入れていくことになりました。個々の「困り感」を1つひとつつぶしていったり、枠にはめていったりということではなく、子どもが楽しみながら自主的に「根本のつまずき」を解消していくことで、「にこにこるんるん」に過ごしていくことを目指しております。次号から、「にこらむ」にて、「にこる」の療育方針「にこにこるんるん」について具体的に掲載していきます。

放課後等デイサービス

# よっぱ・にこる

〒422-8042

駿河区石田1丁目19-2  
メゾン石田1F

TEL 054-269-5128  
FAX 054-269-5129

お気軽にご連絡  
くださいますら～

